

まちづくり研修会開催

～大地震発生時の対応について～

南越谷地区センター

7月8日(日)

「平成24年度南越谷地区コミュニティ推進協議会まちづくり研修会」をコミ協会員、自治会をはじめコミ協構成団体を対象に開催しました。

講師は、越谷市協働安全部長荒井隆之氏で、内容は

- ①東日本大震災における越谷市の対応
- ②この大震災から見て私達がなすべきことは何か
- ③越谷市の防災対策
- ④必要な備えは何か「自治会・コミ協・住民のなすべきことなど」映像を使って説明がありました。

越谷市には今も300名ほど避難生活をしている方がいます。

現地に救援や視察に行かれた様子も話されました。今回の地震では帰宅困難者対策、携帯電話が繋がらないなどの対応が求められました。

「自分の命は自分で守る」を第一に、それから家族、近所の支援という自主防災の大切さを感じました。「防災対策ガイド」にも記載されている災害に備えて「避難・家具の転倒防止・非常持出品の用意・家族で話し合う」などが必要です。

「広報こしがや」と市のホームページに「越谷シテイメール配信サービスについて」が記載されています。登録すると越谷市の最新防災情報などが得られます。

今後の南越谷地区における防災対策の取り組みにあたり大変有意義な研修会でした。

N・A



普通救命講習会

南越谷地区センター

防災部会担当

7月14日(土)

今回の講習会は、コミ協会員を対象に越谷市消防署の指導のもと、救急車が到着するまでの救急対応を実習形式で行いました。20名が4グループに分かれ、心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)、AEDの使用法、最後にもう一度初めから通して、一人ずつ正しい対応の仕方を学びました。

最初は手順を覚えることに注意を向けすぎてごちゃごちゃの様子も見られましたが、通しの段階になるとかなりスムーズになり、全員が自信を持ったようでした。講習会では人形を使用しましたが、参加者は実際の現場のような真剣さで取り組んだ講習会でした。

実習の前に指導者から、対応が1分遅れるごとに生存率が7〜10%低下するとの話がありました。現在、救急車が到着するまで6〜7分かかっており、救急車が到着するまでの適切な対応が生存率アップにつながります。できるだけでなく多くの市民が、繰り返し講習会に参加して身につけてほしいとのことでした。

S・K



世代間交流事業

蕎麦打ち・お団子作り

南越谷地区センター

福祉部会担当

7月24日(火)

今年の世代間交流事業は午前・午後に分け、地区センターの調理室で開かれました。午前中の「蕎麦打ち」には10人程の高学年児童に混じり、年配の方の参加もありました。

4組に分かれ、指導員の手さばきを見ながら、マニュアルにそって見よう見まねの蕎麦打ちです。水回しで蕎麦のできが9割ほど決まると言われていて、水加減・練り回しに苦労をしていました。名人いわく「蕎麦打ちは奥が深い」とのこと、切り上がってみて、美味しさを感じた蕎麦が一番と言われていました。

午後は低学年児童31名と交流参加者で「白玉あん団子」「みたらし団子」各2組に分かれ、福祉部会の方々の微笑ましい指導で団子作りが始まりました。テレビ埼玉に放映されるビデオ撮影もあり、子どもたちは笑顔のスター気取りで、大きな団子、小さな団子を作っていました。試食会では、子どもたちがかわり、おかわりと賑やかな交流会でした。

R・N&S・S



「コミュニティリーダー養成講座」

越谷市中央市民会館 8月5日(日)
共催 越谷市コミュニティ推進協議会・越谷市

今回のコミュニティリーダー養成講座には、南越谷地区から6名の「コミ協会員」が参加しました。

テーマは「住民協働による安心・安全なまちづくり」で、講演とグループワークが行われました。

講演では、明治大学政治経済学研究所 牛山久仁彦教授から、東日本大震災後に現地入りして見た被災状況と地方行政の動向を紹介しながら、住民と行政の連携・協力の必要性などについてお話ししていただきました。

グループワークでは、参加者5〜6名で一つのグループを作り、望ましい安心・安全なまちづくり事業を協議、取りまとめ、最後に各グループから発表が行われました。

短時間ででしたが、今後の各地区「コミ協」の活動に活かせる養成講座でした。

S・S



南越谷地区の犯罪は減少気味

～地域の協力を忘れてはならない～
8月15日(水)

最近の南越谷地区の犯罪発生状況を越谷警察署生活安全課に聞く。

地域の皆さんのご協力で、振り込め詐欺、ひったくり、空き巣、自転車盗難は昨年度に比べ全体的に減少(約10%)。ただし自動車部品盗難(タイヤ、カーナビ、ナビプレートなど)が増加している(約30%)。このことは自動車部品盗難を除けば、日頃地域の皆さんが被害にあわないための心がけ、「一声運動」でコミュニケーションを大切に、自主パトロール、ATMパトロール、月1回の警察署と共同による地区内パトロールの効果が上がっていると思われる。

今後さらなる犯罪防止に向けて、個々には次の重点項目を心掛けることが大切。
● 振り込め詐欺……他人に現金・キャッシュカードを渡さない。
● 自転車盗難……2重ロック施錠の徹底
● ひったくり……自転車には防犯カバーを
● 地域内のルールを守る……(ポスター掲示状態、「ゴミ出しなど」)
警察署は「青色回転灯防犯パトロール」を平成24年6月1日より実施している。

T・N



南越谷地区内の夏祭り

今年の地区内夏祭りは、例年と違って子ども中心の催しが多く、子どもみこし・子ども盆踊り(ダンス)・スイカ割り・ゲーム・抽選会がメインとなりました。

T・N



事業予定

- 第41回南越谷地区体育祭 9月2日(日) 8時 南越谷小学校 ※予備日9月9日(日)
- 市民体育祭中央大会 10月7日(日) 9時 しらこぼと運動公園競技場 ※予備日10月14日(日)
- 高齢者の社会科見学(コミ協主催) 10月16日(火) 笠間稻荷神社、茨城空港
- 防災ウォークラリー(コミ協主催) 10月28日(日) スタート: 南越谷地区センター
- 南越谷地区フェスティバル 開催日 11月17日(土)・18日(日) 申込締切日 9月30日(日)



ボトルキャップ回収報告

期間: H19.12.1~24.8.23

累計で 4,227,720個

ポリオワクチン/ 5,284人分、CO₂発生削減/ 33,293Kg でした。

今後ともよろしくお願いします!

編集後記

「熱中症にご注意」のアナウンスが絶え間なかった今夏。それでも地区内では様々な行事が精力的に行われました。これらを通じて、個人や団体相互のコミュニケーションで地域づくりが一層発展することでしょう。

S・H